

まちネットワークよりい まちネット寄居 私たちから発信しよう 私たちのまちづくり

さあ 手をつなご!

まちネット 寄居通信『さあ 手をつなご!』はみなさんの支援力がエネルギー源

発進!! 暮らしのサポートセンター

地域のコミュニティービジネスを求めて

かたかご

かたかごは、すみなれた地域で安心して暮らして行ける、きめ細かなお手伝いをします。(かたかごとは、万葉言葉でかたくりのこと、寄居町の花でもあります)

少子、高齢化が現実に進む中、経済至上主義は私たちの身近な地域社会の中にも加速度的に広がってきました。富める者と貧しいものの格差、自然破壊や生活環境の悪化も進んでいます。

人と人との繋がりも希薄となり、すぐ目の前にある不安とともに、誰もが将来的な不安を抱えて暮らしています。

私たちはそんな暮らしの不安を地域で支えあうことで少しでも軽減したいと考えました。

かたかごは、身近な生活の支援を、地域にすむ人たちによる「たすけあう」「支えあう」事をベースにしたサポートセンターです。私たちの必要とするより豊かな生活の質の向上 (Quality of life) を目指したサービスを作り出し、同時にそれを地域の人たちが担うことで働く場を作り出します。

安心して暮らせる地域社会の一助となることを目的とします。自分の得意とすること、空いている時間をこのくらいならできそうと係われる人が増えていく中で、支えあう仕組みをより強固にすることができます。

昨年いろいろな世代の人たちと懇談会を持つ中、さまざまな問題提議がなされました。

こんな仕組みがあればいい、それは子育て世代から老後のきめ細かなサービスまで多岐にわたっていました。そんな中から、グループで対応できることから始める事としました。

私たちの目指すコミュニティービジネスとは、次のような定義がなされています。

- 住民主体
- 利益の最大化を目的としない
- コミュニティの抱える課題や住民ニーズに答える財、サービスの提供
- 地域住民が働く場を提供
- 継続的事業であること
- 行政から、人的、資金的に独立

社会運動 313 第 9 回社会的企業研究会報告 白鳳大学教授教員 樋口兼次氏より抜粋

これが地域通貨「よりん」です



ただいまご利用できるサービス

かたかごご利用案内

- 1) 会員登録をしてください。年会費 1,000 円(入会時から 1 年間有効)
ご家族一人の登録で家族全員がご利用できます。
- 2) 地域通貨(よりん)[1よりん 500 円相当]1よりん10枚を 5000 円と交換してください
サービスは地域通貨を使用します。規定以外のサービスは、サービス依頼時に
料金の相談をし、場合によっては実費の円が必要となります。
- 3) 会員登録時に自分でできるサービスを登録することで、サービスの提供ができます
自分で取得した「よりん」であなたが必要とするサービスを購入できます。
もちろんサービスを受けるだけでも OK です。

●
お問い合わせ先=かたかご事務局
582-4073(TEL&FAX) 大北
(AM8:30~PM19:00 受付)

内容により相談のうえ
経費は決めさせて
いただきます

移 送

- 30 分以内 1 よりん、
1 時間以内 2 よりん 以後 30 分ごとに 1
よりん
- ◎ 病院、銀行、郵便局から映画、買い物な
ど外出時にお気軽にご利用ください。

車 輛 関 連

- ユーザー車検代行します
- 簡単な車の整備します
- カーナビの取り付けします
- 物品の運搬します(ただし軽トラッ
クに乗るサイズ)
- ◎ お気軽にお問い合わせください。経
費は相談の上決めさせていただきます

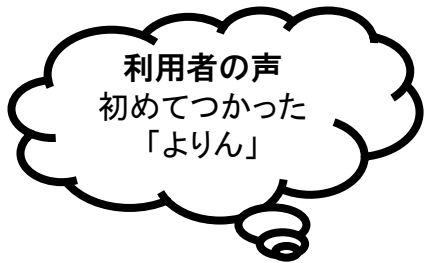
食

- お弁当、お惣菜ご注文にあ
わせてお作りします
- 味噌、梅干、お漬物指導し
ながら一緒に作ります

生 活

- 小学生の宿題をみます
- 図書館へ本の返却あるいは
借りて自宅まで届けます
- パソコンで書類作りの手伝
いします





利用者の声
初めてつけた
「よりん」

待ちに待った移送サービス

私は、車を持っていませんので月1回の通院は数少ないバスで行っていましたが、寒い時や雨の時などは高齢になりましたので大変になってきました。

幸い生活クラブ生協の「エココマナーつながりスト」の車の送迎をお願いすることにしました。

「エココマナー」は自分の車を使い、ガソリン代もお支払いしないのはお願いする側とすれば、大変心苦しく思いつつ、10回ほど移送していただきました。

今年5月1日から「かたかご」が始まりました。幸いに呼びかけていただき、ちょうどこの日が通院の予定日なので「エココマナー」と同じ方ですが「地域通貨よりん」でお願いしました。

待ちに待っていたこの制度は、高齢者のみでなく大勢の人に必要なことです。この制度を理解し、入会し、暮らしのサポートができて、豊かな生活が約束されればうれしいと思います。

これからも私は「移送サービス」を利用することが多いと思いますがよろしくお願いします。また、私でもできることもやりたいとも思っています。

青木もりとし



自分のできることを

心待ちにしていた暮らしのサポート（地域通貨よりんを使った）が動き始めました。早速料理の依頼がありました。このシステムの良さは、自分でできることを皆さんに提供できる喜びと、自分がしてほしいことをお願いできる安心感、この相互関係で信頼が生まれ、またさまざまな人々との出会いができることです。参加者が多数であればあるほど多種多様に活動ができます。町ネットワークの大きな輪の広がりを期待しています。 M・N

2006 年度の総会

南から梅雨入りの知らせが北上しています。総会から早3ヵ月・・・遅ればせながらの報告です。

設立4年目を迎えた「まちネットワークよりい」の総会は、出席者11名（委任状提出者20名）という家庭的な楽しい雰囲気の中、今回もまた、形だけの議事審議ではない、参加者が本音で話し合える場になりました。「まちネットワークよりい」は、文字通り地域にある様々な団体とネットワークを組んで動いていくのではないかという提案から、それぞれの関わっているNPOや市民団体の話や、情報を交換などにも広がり、また、通信の利用や配布の仕方などについての具体的な提案もありました。

議案は全て承認され、今年度の活動はもう展開されていますが、「私発でこの町を暮らしやすい町にしよう」という設立趣意のもと、私たち生活者の思いが、今、少しずつ具体的に形になってきているように感じています。少しずつでも各々の思いを声にして寄せ合うことで、暮らしは変わっていくんだな・・・と実感できるよ

うになると、その実感がまた町づくりに向けての力になります。時にはもどかしさも苦しさもあるけれど、それもまた力になる、そしてまた歩く・・・これが、本来の住民主体のまちづくりの姿なのかもしれません。そうやって実現できた自分の住む町は、どんなにか愛しいでしょう。理想論を語るのも時には大切かもしれませんが、私たちは現実根ざしたそれぞれ思いを持ち続け、そして皆で寄せ合っていきましょう、今年もまた。



かたかごでは、きめ細かなサービスの充実を図っています。

こんなサービスが欲しいといった要望をお寄せください。

あるいはあなたの得意分野でのサービス提供がしたい、自分のあいている時間内で働きたいなど、興味関心のある方はぜひご連絡ください。

地域の多くの方がかかわることで、より豊かなサービスが誕生し、また働く場も広がります。顔の見えるコミュニティビジネスを広げることで地域の活性化へも繋がっていきます。

詳細は事務局までお問い合わせください。

かたかご事務局
大北 TEL 582-4073

ネット会員募集中 いつでもどうぞ!

暮らしの中で気になっていること何でも話し合いませんか?

問い合わせ・申し込みは
遠藤 TEL581-9948 まで